

研究課題番号	3-1703
研究課題名	セメントフリーコンクリートを実現するフライアッシュの高度資源化技術の開発
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	102,911 千円
研究機関名	北九州市立大学
研究代表者名	高巢 幸二

1. 評価者の指摘及び提言概要

フライアッシュの強熱減量を燃焼法ではなく浮遊選鉱という技術で減少改質したことがユニークで、結果として低CO₂な技術を開発したことは高く評価できる。また、その装置の飛灰発生源での利用にも一定の経済性があることから社会実装への期待が持てる。改質フライアッシュを用いたジオポリマーコンクリートについては、実用化評価をし、社会実装への手掛かりを示したことは評価できる。しかしながら、社会実装には、原料フライアッシュの確保、長期耐久性基礎データの蓄積、JISの取得、既存のセメントとの優位性比較と棲み分けなど、残された課題も多い。実用化に向けたさらなる展開が期待される。

2. 評点

総合評点：A